

# 蛇の目跡地には、市民への約束どおり 文化ホール、図書館、市庁舎を!

1月9日、稲葉市長は、「蛇の目ミシン跡地」と「二枚橋焼却場用地」を、新焼却場の候補地にする  
と発表しました。市民参加を一切せず、市民の意見も聞かず、市議会の意見も聞かず、一部職員の議  
論だけで独断で決定したのです。

稲葉市長からは、長年公害に苦しんできた二枚橋周辺住民への感謝の姿勢も、突然候補地に挙  
げた蛇の目ミシン周辺住民へのお詫びの姿勢も、何ら感じられません。

蛇の目ミシン跡地は、前市長が「市役所庁舎」「文化センター」建設予定地として購入しました。  
当時の市議会では、すべての会派が購入に賛同しました。購入価格は約120億円と高額でした  
が、東西南北どこから見ても市の中心にある「二度と出ない土地」として無理して購入したのです  
(現在は、地価の下落で40億円程度の資産価値になっています)。

私たち「**小金井政策総合研究所** (政策総研)」は、蛇の目ミシン跡地には、市民への約束を守っ  
て「文化ホール」「図書館」「市庁舎」を建設するべきだと考え、都市コンサルタント・一級建築士・  
建設会社・商業者・市民で「プロジェクト蛇の目跡地」(チーフディレクター:柴崎健一)を立  
ち上げ、第1弾として「蛇の目ミシン跡地」の具体的な施設配置、経費試算を進めてまいりました  
(施設配置に関しては、ぜひ裏面をご覧ください)。

私たちの案では、西側から順に、「文化ホール(1500席)・ギャラリー棟」、「図書館(現在  
の倍の面積)・交流センター棟」、「市役所総合庁舎棟」を配置しました。駐車場は北側に隣接する  
JR中央線の高架下を活用して設置しました。3棟とも屋上広場を設け、とりわけ図書館棟屋上  
は全面緑化を行ないゲートボール場としても活用できます。交流センター部分は、さまざまなレ  
セプションやミニコンサートにも対応できるプランです。

経費試算に関しては、施工実績が豊富な建設の専門家に試算をさせました。「3棟合計で62億  
円で建設できる。さらに下げること可能」との返事をいただいております。

稲葉市長の計画では、武蔵小金井駅南口再開発の、第1地区に市民交流センター(578席の  
文化ホール/維持費に毎年2億円超の赤字が出ると市当局が試算済。)を66億円で購入し、第  
2地区に市役所庁舎を92億円で購入する計画です。その合計は158億円にも達します。駅前  
ロータリーの正面に文化ホール、その南隣りに市役所などという立地では、土地代も床代も高く  
なるのは当然です。

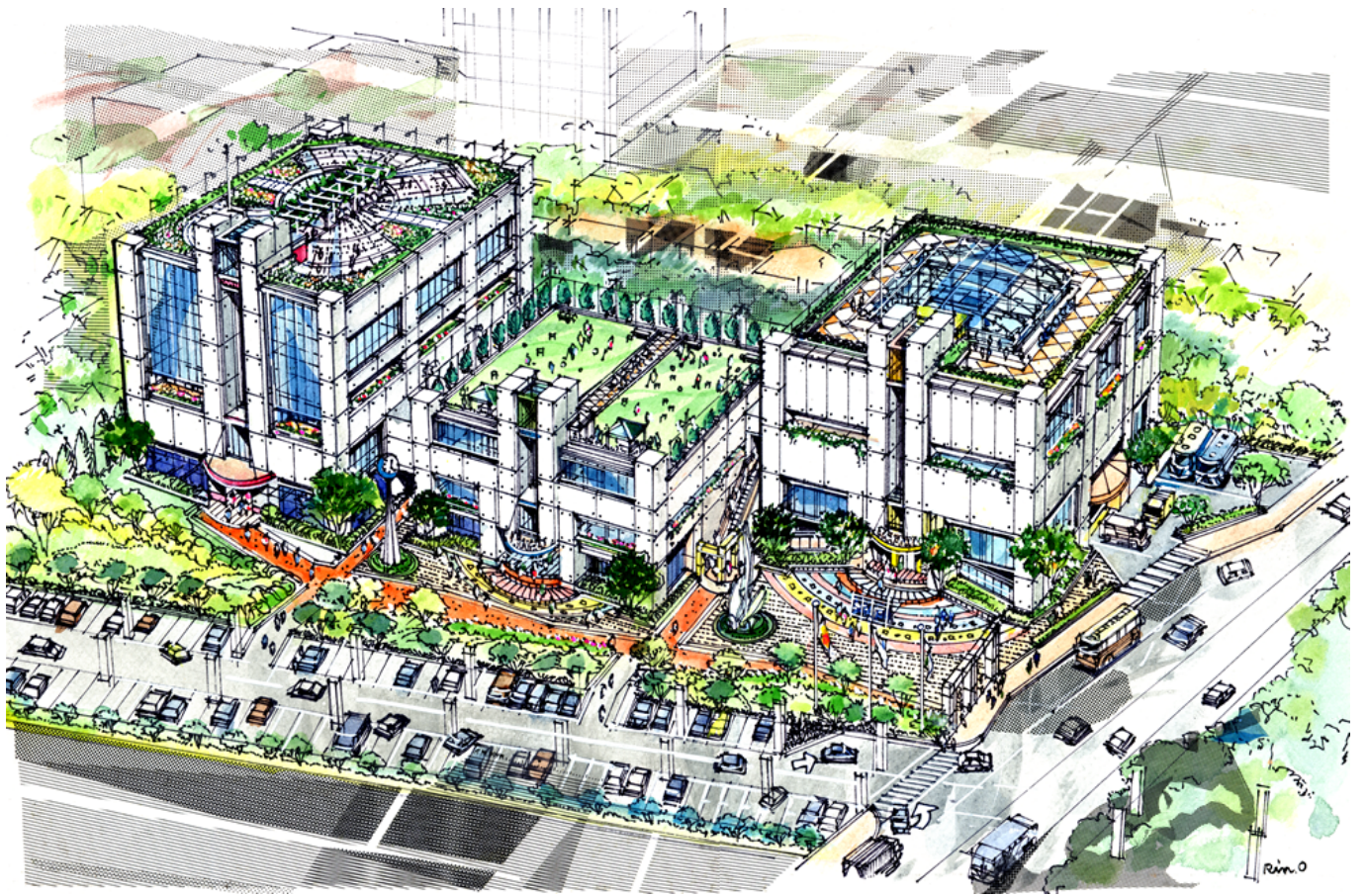
自らのごみの行き先すら怪しい中で、駅前一等地に市の公共施設を集中させるのは明らかに間  
違った政策で、良識ある市民や、小金井からごみ持ちこみを依頼されている他市の笑いものにな  
っています。必要な施設は整備しなければなりません。駅前整備も必要です。しかし、余分な血税  
をつぎ込むのではなく、なるべく安価に済ませる工夫をすべきです。安価に済めば、その分は「生  
ごみ」「紙類」「剪定枝」などをリサイクルする諸施策に財源を回すこともできます。

稲葉市長の「怠慢」「無為無策」により、10年にもわたって、従来の1.5倍もの処理費を国分  
寺市などに払うことになりました。その損失は30億円を超えとも試算されます。ただでさえ  
苦しい財政上、極めて甚大な損失と言わなければなりません。「駅前ロータリー正面の文化ホール」  
「駅前一等地の市役所」などの無駄な公共事業は直ちに取りやめるべきです。

私たちは、私費を投じて図面やパースや企画書を作成してきましたが、これが実現できるかど  
うか、皆さん一人一人が実際に動くかどうかにかかっています。「誰かがやってくれるだろう」で  
は実現しません。うやむやの内に、蛇の目ミシン跡地に煙突がそびえ立ち、「100年の焼却場づ  
くり」となり、子々孫々までが苦しむ「小金井の恥のシンボル」となるでしょう。

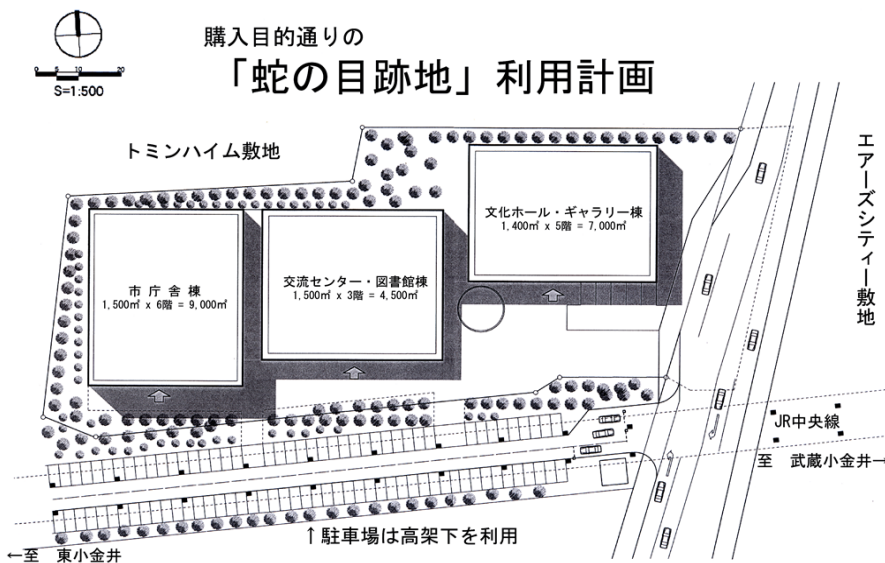
私たちは、「小金井を愛する志」を持つすべての皆さんと協力し、全市民に平等な立地の「蛇の目  
ミシン跡地」が、市民本位の利用をされるよう取り組んでまいります。

**裏面に、私たちが作成した「蛇の目跡地整備構想」図面を掲載**



私ども「小金井政策総合研究所（政策総研）」が企画した「蛇の目ミシン跡地」活用案

敷地北側から見たものです。施設は、右から順に「文化ホール（1500席）・ギャラリー棟」「図書館・交流センター（レセプション対応）棟」「市役所総合庁舎棟」を配置してみました。3棟とも屋上広場をつくり、特に図書館の屋上は芝生で緑化しております。なお、図面下側の駐車場は中央線高架下を活用しますが、見やすいように高架の橋脚のみを描いております。敷地右側はCOCOバスの発着場となっています。この企画は私たちが勝手にやっているものではありません。本来は、こういう風に使うというのが市民への約束だったはずです。



【連絡先】

小金井市本町6-12-13  
 創業昭和11年 株式会社大島内  
**小金井政策総合研究所**  
 所長 大嶋幸治  
 担当研究員 渡辺大三（市議）  
 TEL384-2111 FAX383-7365

**大嶋幸治略歴**＝小金井市出身。一小、二中、都立国立高、日本大学理工学部卒業。本町一丁目・六丁目で酒販業を営む。元全国小売酒販組合中央会会長。現武蔵野酒販協同組合理事長。

**渡辺大三略歴**＝岩手県出身。小金井市立本町小・一中、都立小金井北高、中央大学法学部卒業。地方紙記者・代議士秘書を経て、現4期。

上掲は、パースの元になる平面図です。